

最先端研究開発支援プログラム研究課題



「次世代質量分析システム開発と創薬・診断への貢献」

mass Spectrometer for drug discovery and diagnostics

— 血液一滴から様々な病気の診断と創薬・治療の手がかりを得るために —

説明資料

(研究開発の進捗状況及び目標の達成見通しと
今後のプロジェクト実施に係る対応案について)



京都大学



SHIMADZU



独立行政法人
科学技術振興機構

平成24年9月26日

スライド番号

1. 追加で頂いた質問と回答の対応表	3
2. 研究推進体制（現）	4
3. 事件報道を受けた後の検討 経緯	5
4. プロジェクトの概要	6
5. サブテーマ2・3の進捗状況	7
6. これまでの成果・課題	8
7. サブテーマ2・3の役割	10
8. サブテーマ2・3とサブテーマ1の関係	11
9. サブテーマ2・3の実施機関に必要な条件	12
10. 辻本元教授のPJにおける役割・実績	14
11. 辻本元教授の不在が及ぼす影響と対応	16
12. 当初目標を達成するための最善策	17
13. 研究推進体制（新）	19
14. 新体制による具体的な態勢強化策	20